

公式通知 No.10-1/2

KV-40 チャレンジ苑

特別賞について

特別賞の対象チームについて、下記の通り公示する。

◎ 高等学校部門 特別賞(KV-1)

Car No.44 奈良朱雀・奈良商工高等学校機械研究部

■ 選考理由

チーム員のこだわりでトミカ スカイラインターボ スーパーシルエットを、無駄の無いデフォルメの中で見事に表現しており、『楽しさ』を感じながら取り組んだことが伝わってきたため、特別賞といたしました。

◎ 高等学校部門 特別賞(KV-2)

Car No.65 京都工学院電子機械工作クラブ

■ 選考理由

アルミ材をベースに車体構成しており、切削面も丁寧に仕上げられていました。さらに、ドライバーの乗車し易さを向上するためスライドレールを用いたスライドドアを採用しており、2つのベアリングによる作動が非常にスムーズであり、発想に独創性があり乗車環境の向上にも寄与している所を評価し、特別賞といたしました。

◎ 技術賞

Car No.54 東技研

■ 選考理由

駆動部のコンパクト化に挑戦し『リヤ駆動』『リヤステアリング』とし、他チームに見られない構造で乗車時地上高 10cm をターゲットに、サスペンションでグリップと乗り心地を解決し、クロスメンバーでテンションを掛ける事で駆動位置を保持している点を評価し、技術賞といたしました。

◎ デザイン賞

Car No.56 東富士エコラン同好会

■ 選考理由

『身長 170cm のドライバーが、全長 130cm の車体でゆったり乗車できること』をコンセプトに製作されていて、リカンベントの自転車フレームをベースに製作したことや、人工芝と黒いフレームがかわいらしさとまとまりがあることに対してデザイン賞といたします。

◎ コチラレーシング賞

Car No.55 チームさんねこ

■ 選考理由

ホームセンターで購入できる脚立や背面に使われているまな板など、非常にユニークで身近な素材を使っていることを表して、コチラレーシング賞を贈呈いたします。

公式通知 No.10-2/2

KV-BIKE チャレンジ宛

特別賞対象チームを、下記の通り公示する。

◎技術賞

Car No.2 チャレンジャー

■選考理由

走行中に戦略を立てられるよう、スマホを活用した積算電力計を搭載し、電費をリアルタイムで確認できる技術のさらなる進化や、誰が運転しても電費がいい技術へ発展することなど、期待を込めて技術賞といたします。

◎デザイン賞

Car No.6 ふじばか A

■選考理由

3回目のチャレンジで、シンプルでかっこいいをコンセプトに常に進化をされておりカウルは3Dプリンターで制作し、バケツの蓋には見えないホイールキャップもとても素敵です。『シンプルでかっこいい』がさらに進化することに期待してデザイン賞といたします。

◎コチラレーシング賞

Car No.28 ペンタンⅡ

■選考理由

車両への機器の取り付けが工夫されており、他の車両に比べオリジナルに近い車両で競技に挑む姿を称えて、コチラレーシング賞を贈呈いたします。

以上